

京都大学総合博物館 平成20年春季企画展

京の宇宙学 —千年の伝統と京大が拓く探査の未来—

1006年5月1日深夜、京の空に史上もっとも明るい星が輝きました。超新星SN1006です。安倍吉昌が観測、後に歌人の藤原定家が日記「明月記」に記録を残しました。千年後の2006年、京大のグループは、日本のX線衛星「すざく」を用い、直径50光年の巨大な火の玉に成長した超新星SN1006の姿をとらえることに成功しました。京大では、この成果をもたらした装置をはじめ、宇宙太陽発電所からの無線エネルギー伝送が可能であることを実証した実験装置の開発、惑星間航行装置の設計など、宇宙の理解・利用・探査のための研究が活発に行われています。本企画展示では、千年を遡る京の宇宙学が明らかにした最新の宇宙像—地球・太陽・太陽系から恒星・銀河・宇宙まで—と、先端のテクノロジーを駆使した宇宙探査の現状と未来など、京大の宇宙学のすべてを詳しく紹介いたします。

●展示解説

毎週土・日曜日・祝日 11:00～, 14:00～, 15:00～の3回(各40分程度)。申込不要です。直接ご来館ください。

●企画展に関連したイベント

会場：京都大学総合博物館

参加費：総合博物館への入館料が必要です。

また、4/12のイベントについては総合博物館～花山天文台への交通費も必要です(1,000円程度)。

4/12(土)	太陽のなぞをさぐる	・定員20名 *注)事前に申込が必要です。
13:00～16:00	柴田 一成 京都大学大学院理学研究科教授	
4/19(土)	人工衛星を作ろう	
14:00～16:00	鶴 剛 京都大学大学院理学研究科准教授	・申込不要です。
4/26(土)	宇宙のはじまり	
14:00～16:00	田中 貴浩 京都大学基礎物理学研究所教授	・申込不要です。
5/3(土)	超新星と京都1000年の散歩	
14:00～16:00	小山 勝二 京都大学大学院理学研究科教授	・申込不要です。

*注) 官製はがきでの申込は①「太陽のなぞをさぐる」参加申込の旨②住所③電話番号④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥職業を明記のうえ、下記宛先にお申し込み下さい。

電子メール・FAXでの申込は、件名を「『太陽のなぞをさぐる』参加申込」とし、上記②～⑥を明記のうえ、下記宛先に送信してください。

*申込は1人1通とし、複数の申し込みは無効とします。受講申込の受付採否は後日お知らせします。

*申込締切 4月4日(金)

●第23回公開講座 京の宇宙学—千年の伝統と京大が拓く探査の未来—

5/10(土)	宇宙から電気を送る	
	橋本 弘藏 京都大学生存圏研究所教授	
5/17(土)	ガンマ線で見える高エネルギー宇宙像	
	谷森 達 京都大学大学院理学研究科教授	
5/24(土)	赤外線天文学の世界	
	長田 哲也 京都大学大学院理学研究科教授	
5/31(土)	月惑星探査の極意～軌道工学の世界～	
	山川 宏 京都大学生存圏研究所教授	

開催時間：13:30～16:00

会場：京都大学総合博物館 2階セミナー室

定員：30名(応募者多数の場合は抽選)

受講料：6,200円

(全講義を通しての受講料です。受講決定通知後に受講料を振込み願います。納められた受講料は返金できません。)

申込方法：

官製はがきでの申込は、①「公開講座申込」の旨②住所③電話番号④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥職業を明記のうえ、下記宛先にお申し込みください。

電子メール・FAXでの申込は、件名を「公開講座申込」とし、上記②～⑥を明記のうえ、下記宛先に送信してください。

*申し込みは1人1通とし、複数の申し込みは無効とします。受講申込の受付採否は後日お知らせします。

申込締切：4月23日(水)

*ただし、定員に達しない場合、締切後も申込を受け付けます。

申込
問い合わせ先

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL(075)753-3272 FAX(075)753-3277

申込用アドレス koukai@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

HP:http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html